

## 令和元年度 磯子区事業評価委員会からの意見

今年度は、災害対策や高齢者福祉、子育て支援などを中心に、バランス良く、堅実に施策が実行されてきました。これまで大きな課題として挙げられてきたことが、解決に向けて前進したと思います。

一方で、課題も残っています。区民が安全・安心に生活できるよう、災害への対策は重要です。避難場所と地域防災拠点の違いの周知など、台風の教訓を生かしてください。また、誰もが安心して暮らすためには、自治会・町内会も大きな役割を果たしています。区役所と区民が様々な場を利用してコミュニケーションを取り、区民ニーズを吸い上げるとともに相互理解を深め、区民目線に立った行政運営をお願いします。

成果が出るまでには中長期にわたる事業もあります。短期的な視点だけでなく、中長期的な視点で、取組を継続していくことが重要です。また、マンパワーや予算などの資源が限られている中、事業を統廃合しつつ、区民や区職員の創意工夫を生かした新しくチャレンジングな施策に取り組むことも重要です。施策間の連携などにより相乗効果を生み出し、従来分野にとらわれない施策の展開を期待します。

また、地域住民に加え、企業や非営利団体、ボランティア団体、区外の組織などと連携・協働するとともに、ネットワークを形成し、取組主体がこれらの組織に移行するような施策もあると良いと思います。さらに、行政だけでなく、区民が自ら学び仲間と一緒に進めていくなど、区民が主体となって取り組むことができる地域づくりが大切です。

事業評価の仕組みは高く評価できます。事業を実施することによって何が起こり、解決したのかという視点も意識しながら、継続していただきたいと考えます。